

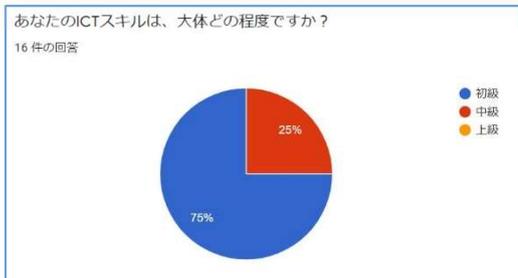
主催:羅臼町立春松小学校様

体験重視のプログラミング研修会で基本的なことを学ぶ

知床羅臼の小学校で17名の方々に参加していただき開催！



- ◆今回は北方領土国後島が眼前に広がる羅臼町立春松小学校(植島博幸校長)様にお邪魔しました。前日には流氷が海岸に押し寄せたということでしたが、この日は風向きの関係で海岸から沖合に離れていました。今回訪問した春松小学校は海岸沿いにあり、学校の窓からは、根室海峡を挟んで国後島がはっきり見える大変自然豊かな環境の中にあります。
- ◆この日の前日、羅臼町では北海道立教育研究所の方々を招いて町教育委員会主催によるプログラミング研修会を実施しており、春松小学校においては二日続きの研修会となりました。その熱意に頭が下がる思いでした。
- ◆教育委員会からは山本教育指導主幹他1名の方の参加もあり、最後まで春松小の職員の方々と研修を受けられました。多くの訪問先で、教育委員会幹部の方や学校の校長先生や教頭先生などの管理職の方々も参加されることが多く、プログラミング教育に対する意識の高さを感じられます。
- ◆研修会には春松小学校の教職員15名の方々に参加していただきました。ICTスキルの関係で言えば、他の会場と同じように多くの方が「初級」と思っている方が4分の3程度いらっしゃいました。



羅臼町立春松小学校プログラミング教育研修会の概要

- 【場 所】 羅臼町立春松小学校 音楽室
- 【日 時】 2020年2月19日(水)午後3時30分～4時30分(1時間)
- 【参加者】 羅臼町立春松小学校 15名
羅臼町教育委員会 2名 合計17名
- 【内 容】
 - ・プログラミング教育の授業づくり
 - ・プログラミング教育の教材について

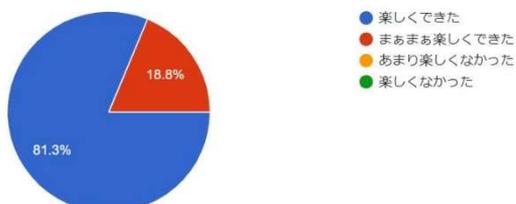


- ◆根室管内にある羅臼町は、算数も理科も東京書籍の教科書が採択されています。算数では、特定非営利活動法人みんなのコード様で運営しているプログルを活用して研修を深めました。理科はマイクロビットに人感センサーを接続させ、電気の利用について研修を行いました。ただ、1時間という時間でしたので、あまりICT機器に慣れていない先生には難しかったようです。それでも多くの方に参考になったという感想をいただきました。



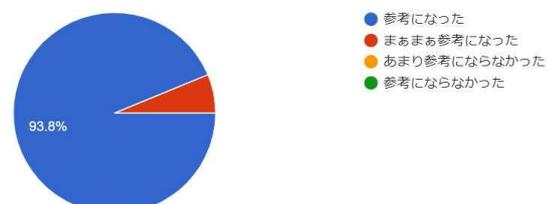
今回の研修会は楽しくできましたか？

16件の回答



今回の研修は今後の実践に参考になりましたか？

16件の回答



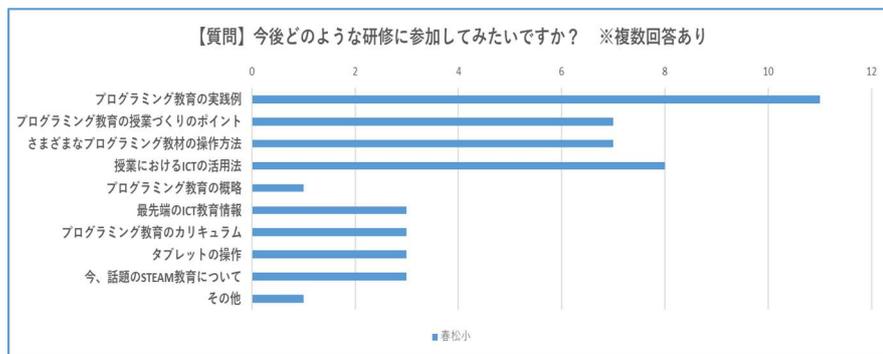
「実践例が多く、基本的な考え方を簡潔に知ることができました」

◆アンケートには、自由記述の欄も設け、様々なご意見等をいただきました。その全ての回答が下の通りとなっています。ご感想、ありがとうございました。

【参加者のご意見・ご感想】

- 1 新しく知ることがあって良かったです。
- 2 操作がむずかしかった
- 3 ここまで進んでいることを全然知らなかったのをこれを機会に勉強しようと思いました。
- 4 まだ全学年でどのように利用していくのかといったところのイメージができなかったので、6年間を通しての内容の話もあればと思った。本日はありがとうございました。
- 5 プログラミングソフトを実際に使ってみることができとても良い体験になりました。実際に授業で使うにあたっては、まだまだ勉強が必要だと感じました。ありがとうございました。
- 6 マイクロビットは、基盤が丸見えで子どもが使うには不向きと思っていたので、買っていませんが、今回の研修で学習で使ってみたくと思います
- 7 もう少し学びたかったです ありがとうございました！！
- 8 難しかった
- 9 実物を使って操作しながら楽しくできました。プログラミングの学習の具体例がわかったので参考になりました。ありがとうございました！
- 10 有意義な研修ございました
- 11 センサーのプログラミングが楽しいです！
- 12 実際にタブレットを操作しながら、教科書の内容の進め方を学ぶことができ勉強になりました。また、教科書の内容を元にしながらのプログラミング教育の研修をしたいと思います。
- 13 時間を十分につけられるといいですね
- 14 勉強になりました。ありがとうございました。
- 15 実際にタブレットを操作する研修で、とても楽しかったです。ありがとうございました。
- 16 実際にタブレットや実物を使って研修をすることができたので、使い方を知ることができました。

ICTを活用した授業づくり講座も是非ご利用ください



◆これからは、当然プログラミング教育に関わる研修もそうですが、ICTをいかに活用できるのかという研修も必要になります。春松小の先生方のニーズでも「授業におけるICTの活用法」が2番目に要望の多いものとなっています。「一人一台の端末」ということになってくれば、より先生方がICTを活用できることが求められています。

ICT機器によるリスク管理はこれからの教育では必須！

★現在、新型コロナウイルスの感染拡大で日本中が大変なことになっています。とりわけ北海道は感染者数も多く、北海道知事からも緊急事態宣言が出され、すべての高校・中学校・小学校が、学校保健安全法に基づく臨時休業となっています。休業期間中の子供たちの学習保証をどうするのかということで、各自治体・各学校は頭を悩ませていると聞きます。

★こうした時に、やはりICTによる対策というのは一つ有効な手段だと見直されています。今回の件ばかりでなく、いつなるとき大規模災害が起こるかわかりません。その時に力になるものの一つが高速大容量のネットワークにつながったタブレットやPCといったICT機器です。安否確認や健康管理、そして学習保証という観点からも大変有効です。各自治体・各学校様のリスク管理という観点からも、この機会にご検討されてみてはいかがでしょうか。